

<対策のポイント>

水産資源の持続的利用と海洋環境の保全のために、I U U（違法・無報告・無規則）漁業の撲滅に向け、発展途上国において地域の実情に沿った漁業管理システムを構築します。

<政策目標>

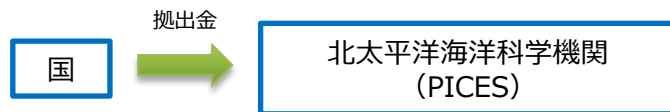
発展途上国（インドネシア等）を対象に、I U U 漁業の撲滅に係る漁業管理技術や高度な養殖技術等を教授する人材育成を実施（対象国で約100人を対象に実施 [事業完了まで]）

<事業の内容>

I U U 漁業撲滅に向けた漁業管理システム構築 8（8）百万円

- 北太平洋海洋科学機関（P I C E S）において、水産資源の持続的利用と健全かつ生産的な海洋環境の保全のために、環太平洋の先進国と発展途上国が協力し、海洋環境や I U U 漁業に関する情報等を漁業者自らがリアルタイムに収集し、現場のニーズに適した漁業被害を軽減するための漁業管理技術の教授及び持続して運用するための人材育成やマニュアル作成等の取組に対して支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

- (1) 地域の実情に沿った資源管理、漁業管理、操業ルールの設定等の管理方策の構築を支援
- (2) 水質の管理・浄化、へい死（突然死）対策等の技術を支援
- (3) 赤潮発生や水質悪化、IUU漁業等に関するリアルタイム情報を現地の漁業者から収集し地図上に表示
- (4) 上記（1）～（3）を運営・政策化するための人材育成、データベースの構築及びマニュアルの作成



期待される効果

海外の優良漁場において、IUU漁業の撲滅を念頭に、漁業者自らが運用する日本型漁業管理システムを実現

我が国にとって重要な漁場の持続性・生産安定性を確保
PICES等の国際機関における日本の発言力強化

【お問い合わせ先】 (1) 大臣官房海外投資・協力グループ (03-3502-5913)
(2) 水産庁研究指導課 (03-3502-0358)